

報道関係者各位

国立大学法人筑波大学

## 筑波大全ゲノム解析の民間共用開始のお知らせ ～大学主導の最先端医療の民間共有体制の確立～

筑波大学附属病院つくば予防医学研究センターでは、令和3年2月よりヒトゲノム研究のために取得するゲノム情報のうち、医学的な有用性のある情報を被験者に還元する体制の構築を目的とした全ゲノム遺伝学的検査（通称：筑波大全ゲノム解析）の実用化のための臨床研究を開始し、令和5年1月現在でのべ25例の筑波大全ゲノム解析を実施しました。筑波大全ゲノム解析の特色は、①全ゲノム解析結果を用いている点、②遺伝専門家や各診療科専門医からなる専門家会議「ゲノミックボード」で結果の意義付けが行われる点、③一度全ゲノム解析を行うと、随時更新されていくデータベースと照合され、照合結果は希望者に毎年フィードバックされます。

この度、より広く受診希望者に本全ゲノム解析をお届けするために、医療法人みなとみらい銀座クリニックにて「筑波大全ゲノム解析」を開始します。この取り組みは、筑波大学附属病院つくば予防医学研究センター（鈴木英雄センター部長）、株式会社iLAC（佐藤孝明代表）及び、医療法人みなとみらい（田中俊一理事長）の3者間で締結した臨床研究「全ゲノムシーケンス解析に基づく遺伝情報の開示に関する研究」（令和3年11月30日締結）に基づき実施するものです。

従来では、本学での申し込みに限り利用が可能でしたが、筑波大全ゲノム解析体制を民間共用する事により、筑波大専門家会議「ゲノミックボード」で意義付けされた結果を民間医療機関でも受けることが可能になります。

【民間共用型の筑波大全ゲノム解析の実施方法について】

今回の取組では、銀座クリニック会員を対象に、銀座クリニックにてインフォームドコンセント（IC）の取得に基づき、血液を採取することから始まります。この血液は、ただちに株式会社 iLAC（筑波大学高細精医療イノベーション棟内）のラボへ搬送され、DNA 抽出を実施します。抽出した DNA は同社の次世代型遺伝子解析システムを用いて、全ゲノムを高精度に情報解析し、科学的エビデンスに基づき、治療方法のある遺伝性疾患やがんのリスク、治療薬剤の効果に関する情報を取得します。情報の解析結果は、筑波大学附属病院つくば予防医学研究センターで、遺伝専門家や各診療科専門医からなる専門家会議「ゲノミックボード」で結果の意義付けが行われ報告書が作成されます。被検者への報告は、認定遺伝カウンセラーと配慮事項について十分協議した後、銀座クリニックにて行います。また、本所見により知り得た解析対象遺伝子情報は、被検者の同意を得た場合のみ、ゲノムデータベースへの登録を行います。また、一度全ゲノム解析を行うと、随時更新されていくデータベースと照合され、照合結果は希望者に毎年フィードバックされます。



**【民間共用型の筑波大全ゲノム解析の内容】**

対象者： 20歳以上で全ゲノム情報に基づく解析結果の開示を希望する健常者

受付窓口： 銀座クリニック

受診価格： 会員価格

受診者様への報告内容： がんや心臓疾患などに関わる約 200 の遺伝子解析結果とそれに関連する生活習慣の見直しや具体的ながん検診等の提案

**【今後の展開について】**

筑波大全ゲノム解析は、従来通り筑波大学附属病院つくば予防医学研究センターにて受付を行っております。今回の銀座クリニックとの民間共用型の筑波大全ゲノム解析の拡充により、今後 5 年間で約 1,000 件の全ゲノム解析の実施を目標とし、被検者への質の高い検査・診断技術の提供及び解析した遺伝子情報の蓄積を図ります。これらの情報は将来的に疾患の発症の予防に役立つデータベース・データネットワークの構築にも寄与することが期待され、全ゲノム解析を通じて、日本における最先端個別化医療の発展に貢献することにより、各個人にとって最善の医療と健康維持を提供することを目指します。

**【本件に関する問合せ先】**

■筑波大全ゲノム解析に関すること

○筑波大学附属病院つくば予防医学研究センター 一部長・病院教授

鈴木英雄（すずき ひでお）

TEL： 029-853-6697

Email： [yobouigaku@un.tsukuba.ac.jp](mailto:yobouigaku@un.tsukuba.ac.jp)

<https://www.yobou.hosp.tsukuba.ac.jp/genomindex.html>



■取材・報道に関すること

筑波大学広報局

TEL： 029-853-2040

E-mail： [kohositu@un.tsukuba.ac.jp](mailto:kohositu@un.tsukuba.ac.jp)